

献 辞

国際文化学会会長 国 松 夏 紀

英語教育・研究，併せて「異文化間コミュニケーション論」教育・研究を中心とする卓抜な諸活動によって，（兼任の1年を含めて）30年の永きに亘り，桃山学院大学発展のため多大の貢献をされてこられた遠山淳教授が，2008年3月末をもって退任されることとなった。これも「定め」とはいえ，お名残りは尽きない。ここに深い感謝と慰労の微意を込めて，『国際文化論集』第37号を「遠山淳教授退任記念号」と銘打って刊行し，その御功績を顕彰させていただきたい。

1937年12月姫路ご出身の遠山淳教授は，兵庫県立高校を経て青山学院大学文学部英米文学科をご卒業後，池坊華道会東京本部，東京イングリッシュ・センター企業内教育部に勤務された。その後，1969年4月，神戸市外国語大学大学院外国語研究科英語学専攻に入学されると共に，神戸YMCA 外国語学校講師となられた。神戸外大大学院は1973年3月中退となるが，翌年9月から翌々年8月には英国ウェールズ大学大学院言語学部応用言語学科に留学され，Postgraduate Diploma を得て，博士課程進学資格を取得された。ちなみに，これは後の話になるが，遠山教授の飽くなき御研鑽は，1996年6月から1999年5月に至るバッキンガム大学大学院博士課程（英国史専攻）入学・在籍へと継続する。ただし，この在籍は，日本にいても可能とのことである。

それはさておき，イギリス留学からご帰国後の1976年9月，神戸YMCA

学院専門学校外国語学科長に就任され、2年半後の1979年4月、その前1年間の非常勤講師勤務を経て、桃山学院大学経営学部助教授（英語担当）に就任された。同時に新任助教授は即学生国際交流委員会副委員長に任ぜられた。この人事は、ヴェテラン英語教育・研究者、言語学教育・研究者、併せて「異文化間コミュニケーション論」教育・研究者としての卓抜なキャリアと共に、「学内行政」の優れた担い手としてのキャリアの端緒でもあられた。すなわち、主なものだけでも、学生国際交流委員長（1981年3月まで）、文学部設置準備委員（1988年4月～1989年3月）、教務委員長（1989年4月～1991年3月）、国際センター長（1993年4月～5月）、学院評議員および学院常務理事・大学移転事業副本部長（建設事業担当、1993年5月～1995年5月）、さらに、エクステンション・センター長（1999年4月～12月）、そして、外国語教育センター設立準備室副室長（2000年4月～2001年3月）、外国語教育センター長（2001年4月～2003年3月）等、登美丘から和泉へのキャンパス移転を挟み学院多事多難の折、要職を歴任された。

筆者の私事にわたるが、文学部開設と共に本学に就任させていただいた小生としてはその節「文学部設置準備委員」の遠山教授にもお世話になり、何かの機会にお目にかかった筈ではあるのだが、すでに記憶は定かではなく、申し訳ございません。それに対して、近年ご一緒させていただいた「外国語教育センター」設立に向けての準備作業の印象はまだ深く残っている。困難な作業を、穏やかなうちにも粘り強く着実に進められてゆく、温厚な人柄に敬服の念を覚えたものである。

この間、遠山教授は、1989年4月、文学部開設に伴い経営学部から文学部に移籍され、文学部基幹科目の英語と「異文化間コミュニケーション論」を担当される。さらに1992年4月には文学部教授に昇任された。また、「文学部教員再配置」に伴い、2002年4月に経営学部に移られたが、1993

献 辞

年開設以来の大学院文学研究科のご所属ならびに国際文化学会会員であられることに変わりはない。

遠山教授のご研究、ご業績の詳細は巻末の「主要研究業績書」にゆずりたいのだが、ご研究の充実した一貫性は、明瞭であり、高く評価されている。

まずは、非常勤、特別講義、集中講義等の出講がある。同志社大学大学院アメリカ研究科非常勤講師（異文化コミュニケーション論担当、1994年4月～1995年3月）、神田外国語大学大学院英語学研究科非常勤講師（比較文化論）集中講義（1998年7月～8月）、立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科（特別講義）集中講義（1999年12月）。

ついで、学会の要職歴任・受賞歴がその評価を明示する。日本コミュニケーション学会関西支部長、編集局長（1988年6月～1993年）、同学会特別賞受賞（2002年6月）、そして比較的新しい学会、日本多文化関係学会副会長（1999年10月～2004年6月）である。

遠山先生、永い間お世話になり有難うございます。お疲れ様でした。今後とも益々ご健勝にご活躍、ご健筆のほど祈念申し上げます。雑誌ご連載中とお見受けします「日本文化論ノート」、一書にまとめられること期待しております。

2007年12月20日